

平成30年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月6日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 社長室部長 (氏名) 土屋昭弘

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日 配当支払開始予定日 平成30年5月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	7,723	5.4	516	13.3	504	14.2	338	48.3
29年8月期第2四半期	7,330	1.2	455	14.9	441	11.6	228	32.6

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 341百万円 (43.7%) 29年8月期第2四半期 237百万円 (21.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	27.99	
29年8月期第2四半期	18.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第2四半期	16,871	7,944	47.1
29年8月期	16,761	7,663	45.7

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 7,944百万円 29年8月期 7,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		5.00		5.00	10.00
30年8月期		10.00			
30年8月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	2.4	1,170	9.4	1,120	7.7	660	41.7	54.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期2Q	12,189,720 株	29年8月期	12,189,720 株
期末自己株式数	30年8月期2Q	80,969 株	29年8月期	80,969 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期2Q	12,108,751 株	29年8月期2Q	12,108,805 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(平成29年9月1日～平成30年2月28日)におけるわが国の経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動など懸念要因はあるものの、雇用・所得環境の改善などにより個人消費に緩やかな持ち直しの動きが見られるなど、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属する健康食品市場は、機能性表示食品の増加などにより、緩やかな成長基調を維持しております。定番商材の青汁や腸内環境の健康に対する関心の高まりから乳酸菌が堅調に推移しており、また、不足しがちな栄養素を補うことや引き締まった身体づくりを目的として若年層への広がりも見られました。

このような状況の下当社グループでは、基幹事業であるOEM部門の売上高が、青汁の好調及び、乳酸菌や酵母の関連商品の伸長により、二桁増となったことが寄与し、当第2四半期の連結売上高は7,723百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は516百万円(前年同期比13.3%増)、経常利益は504百万円(前年同期比14.2%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上した特別損失が無くなった影響などにより、338百万円(前年同期比48.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

当社グループの基幹事業である当部門は、定番商材である青汁が好調を維持したほか、乳酸菌や酵母の関連商品が安定的に伸長いたしました。さらに、ドラッグストア向け商材も堅調に推移いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期を上回りました。

機能性表示食品においては、累計22社(37品目)の届出が受理されております。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、シンガポールのOEM顧客における美容商材の受注が伸長いたしました。また、ベトナムのOEM顧客においても美容商材が順調に推移いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期を上回りました。

・通信販売部門

新規顧客の獲得や知名度の向上を目的に、全国紙へ継続的に広告を出稿しております。また、若年層の顧客に向けSNSやメルマガによるフォローを強化し、囲い込みに努めました。機能性表示食品『ルテインGOLD』や昨年11月にリニューアルした定番人気商品『薬用アミノ酸シャンプー爽快柑』が好調に推移したものの、ネット広告市場の変化が影響しネット事業の成長が鈍化したことにより、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

・卸販売部門

主要販路であるドラッグストアや乳幼児用品を販売する大型チェーン店から『mitete葉酸サプリ』の受注が伸長したほか、海外へ販売展開を行う国内企業から『ナットウキナーゼ』の受注が好調に推移いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期を上回りました。

・店舗販売部門

百貨店外商部門主催の催事へ積極的に出展したほか、既存店舗においてはビジュアル・マーチャンダイジングの見直しを行ない見やすく買いやすい売場構築を推進するとともに、健康セミナーなど顧客視点のイベントを開催しました。また、スマホやパソコン及びLED照明の普及に伴い、従前に増してルテイン商品が注目される中、昨年10月に機能性表示食品『RICH(リッチ)ルテイン25』の届出受理を受け、当商品が急伸いたしました。しかしながら、店舗数の減少による減収が影響し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高7,135百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益823百万円(前年同期比13.9%増)(全社費用調整前)となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、新たな取扱製品を投入したことに加え、昨年2月に承継したジェネリック医療用医薬品『ピムロ顆粒』（センナ下剤）については、既存工場を改築すると共に新たな機械設備を増設し、昨年11月の承認取得後販売を開始いたしました。

また、一般用医薬品事業については、今期中の上市に向け後発薬の商品開発に取り組みました。

しかしながら、本草製薬㈱において不採算品目の漢方製剤の販売を控えたことに加え、ジェネリック医療用医薬品『ピムロ顆粒』の上市に係る費用が嵩み、医薬品事業の業績は、売上高が588百万円（前年同期比2.1%減）、営業損失32百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、8,254百万円となりました。この減少要因は主として、原材料及び貯蔵品が72百万円増加した反面、借入金の返済などにより現金及び預金が84百万円減少したほか、受取手形及び売掛金が45百万円減少したことによるものであります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ163百万円増加し、8,616百万円となりました。この増加要因は主として、日本語学校の建設や工場機械の取得などにより、有形固定資産のその他（純額）が150百万円増加したことによるものであります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ990百万円減少し、6,758百万円となりました。この減少要因は主として、返済期限が到来した1年以内返済予定の長期借入金の借り換えなどにより、短期借入金が879百万円減少したことによるものであります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ819百万円増加し、2,168百万円となりました。この増加要因は主として、返済期限が到来した1年以内返済予定の長期借入金の借り換えにより、長期借入金が832百万円増加したことによるものであります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ280百万円増加し、7,944百万円となりました。この増加要因は主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が278百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年10月10日の「平成29年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,391,777	3,306,844
受取手形及び売掛金	2,054,147	2,008,563
商品及び製品	989,951	969,114
仕掛品	772,267	829,958
原材料及び貯蔵品	795,000	867,351
その他	317,175	286,190
貸倒引当金	△11,365	△13,498
流動資産合計	8,308,954	8,254,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,702,423	2,705,637
土地	4,109,859	4,109,859
その他(純額)	1,153,424	1,303,926
有形固定資産合計	7,965,706	8,119,423
無形固定資産		
のれん	3,061	2,550
その他	100,006	101,960
無形固定資産合計	103,067	104,510
投資その他の資産		
その他	446,571	455,160
貸倒引当金	△62,556	△62,556
投資その他の資産合計	384,015	392,604
固定資産合計	8,452,789	8,616,538
資産合計	16,761,744	16,871,063
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,884,206	1,791,668
短期借入金	4,481,958	3,602,738
未払法人税等	138,220	202,205
賞与引当金	136,500	144,900
ポイント引当金	14,803	16,256
その他	1,093,268	1,000,792
流動負債合計	7,748,956	6,758,560
固定負債		
社債	60,000	—
長期借入金	445,022	1,277,086
役員退職慰労引当金	171,013	157,626
退職給付に係る負債	269,383	285,124
負ののれん	2,253	1,971
その他	401,375	446,456
固定負債合計	1,349,047	2,168,264
負債合計	9,098,003	8,926,824

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,469,539	1,469,539
利益剰余金	4,856,824	5,135,242
自己株式	△59,284	△59,284
株主資本合計	7,672,578	7,950,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,837	△6,757
その他の包括利益累計額合計	△8,837	△6,757
純資産合計	7,663,740	7,944,238
負債純資産合計	16,761,744	16,871,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	7,330,577	7,723,819
売上原価	5,087,181	5,436,448
売上総利益	2,243,395	2,287,371
販売費及び一般管理費	1,787,517	1,770,784
営業利益	455,878	516,586
営業外収益		
受取利息	35	30
受取配当金	1,393	2,974
投資有価証券売却益	—	7,189
受取賃貸料	9,076	10,589
負ののれん償却額	281	281
損害賠償金収入	4,377	—
助成金収入	4,860	—
その他	4,294	4,882
営業外収益合計	24,319	25,947
営業外費用		
支払利息	33,385	31,369
その他	5,253	7,097
営業外費用合計	38,638	38,466
経常利益	441,559	504,067
特別利益		
固定資産売却益	—	18
投資有価証券売却益	19,496	—
補助金収入	24,000	—
債務免除益	12,675	—
特別利益合計	56,171	18
特別損失		
固定資産除却損	5,268	1,145
役員退職慰労金	224,475	—
特別損失合計	229,743	1,145
税金等調整前四半期純利益	267,987	502,941
法人税、住民税及び事業税	70,944	174,349
法人税等調整額	△31,569	△10,369
法人税等合計	39,374	163,979
四半期純利益	228,613	338,961
親会社株主に帰属する四半期純利益	228,613	338,961

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	228,613	338,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,736	2,080
その他の包括利益合計	8,736	2,080
四半期包括利益	237,350	341,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,350	341,041
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	267,987	502,941
減価償却費	186,780	202,236
のれん償却額	228	228
賞与引当金の増減額(△は減少)	59,374	8,400
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,222	1,453
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,863	△13,386
受取利息及び受取配当金	△1,429	△3,005
支払利息	33,385	31,369
固定資産売却損益(△は益)	—	△18
固定資産除却損	5,268	1,145
補助金収入	△24,000	—
役員退職慰労金	224,475	—
売上債権の増減額(△は増加)	△12,523	45,583
たな卸資産の増減額(△は増加)	△189,414	△109,204
仕入債務の増減額(△は減少)	△94,943	△92,538
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,385	15,545
その他	△86,044	19,301
小計	350,118	610,051
利息及び配当金の受取額	1,431	2,992
利息の支払額	△33,291	△31,297
補助金の受取額	24,000	—
役員退職慰労金の支払額	△430,950	—
法人税等の支払額	△119,474	△104,997
営業活動によるキャッシュ・フロー	△208,166	476,748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△199,235	△405,208
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	18
投資有価証券の取得による支出	△31,816	△124,917
投資有価証券の売却による収入	82,490	127,921
その他	△18,000	△12,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166,561	△414,255
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	72,858	206,879
長期借入れによる収入	300,000	1,122,000
長期借入金の返済による支出	△260,952	△1,376,036
社債の償還による支出	△48,000	△48,000
配当金の支払額	△120,743	△60,400
その他	△40,921	△9,869
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,758	△165,425
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△472,486	△102,933
現金及び現金同等物の期首残高	3,239,581	2,872,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,767,095	2,769,844

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,729,499	601,077	7,330,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,729,499	601,077	7,330,577
セグメント利益又は損失(△)	723,148	△5,581	717,567

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	717,567
全社費用(注)	△261,688
四半期連結損益計算書の営業利益	455,878

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	7,135,622	588,197	7,723,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,135,622	588,197	7,723,819
セグメント利益又は損失(△)	823,326	△32,996	790,330

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	790,330
全社費用(注)	△273,743
四半期連結損益計算書の営業利益	516,586

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。